

本時のねらい

・分数の計算について視覚的教材を通して理解する。

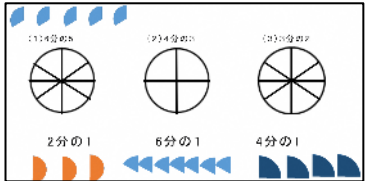
本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・分数の計算問題を、ピザのカットやプリンの分配など、日常生活にあわせた視覚化教材を活用することで、実感を伴う理解につなげる。
・まなびポケットの発表ノートを活用して、視覚化したイラストを画面上で操作することにより「分数の概念」の理解を深める。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレット端末 ・まなびポケットの「発表ノート」機能 ・Microsoft PowerPoint（フラッシュカード）

本時の展開（全5時間計画：4時間目）

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○本時のめあてと流れを伝える。 ○かけ算の確認（帯活動） ・Microsoft PowerPointのフラッシュカードで、かけ算の確認を行う。	・タブレット端末で、あらかじめ作成したフラッシュカードのスライド（Microsoft PowerPoint）を用いて九九の練習を行う。 ・興味関心を高め、テンポよく自分のペースで学習を進めることができる。
展開 (30分)	○分数の学習 ①分数を視覚的に表すことができることを確認する。 ②分数の足し算を視覚的に表現する。 ③食べ物を分数であらわされた数だけ分配する。 ・上記の3段階に分けて学習を進める。 ・「今、6分の1だね」など、聴覚的な情報を与え、行動を言語化して伝える。	・まなびポケットの発表ノートでデータを配付し、配付された図を操作する。 
まとめ (10分)	○分数のプリントを解く ・タブレット端末で学習したことが紙面でも表現できているか確認を行う。	・紙面での表現が難しい場合にも、まなびポケットの画面を再び見せることで、本時の学習を思い返すことができる。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真 1:フラッシュカードでの掛け算の練習の場面



写真 2:分数の図形を当てはめている様子



写真 3:整数の物体が分数で表された際に対応できるかを確認する問題（分数の学習③）

児童生徒の反応や姿容

・タブレット端末を用いて視覚的な課題に取り組むことで、普段の紙での学習の時以上に興味・関心が高まっていた。
・自分の指で操作することで、普段は苦勞している分数の問題も、プリントでも解くことができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・教材を視覚化すること、そして、それを画面上で操作できることが生徒にとっての学びやすさにつながっていた。
・今まで、プリントではなかなか取り組み始められなかった生徒も、タブレットを使うことで、素早く取り組むことができた。
・画面上のイラストを操作することで、分数の概念を、実感を伴った理解につなげることができた。
・紙媒体と比べて書き込みや訂正が簡単であるため、作図を行うことが容易な様子であった。また、その訂正の容易さから、挑戦しようとする意欲につながっていた。